

実施クラス	実施日	実施保育者名
4、5 歳児 にじ・よつば 組	9 月 30 日 ( 火 )	長濱・神原

## ● 実施計画

活動テーマ		
えいごってどこの言葉？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
<p>まずは歌や映像を流していると英語の音やリズムに親しみ、これから何が始まるんだろうというワクワクを感じている姿が見られた。その中でアルファベットにも色々な文字があることに気づいて行く様子が見られたため、身の回りのえいご探しをテーマに探究活動を行うことにした。</p>		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
15:30	<p>【探索活動①】・パパッと英語ユニットで導入を行う。</p> <p>・英語圏の言葉に興味を持つ。</p>	<p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・座って話せるスペースを確保</li> <li>・タブレット・モニターのコード類は子どもが引っ掛からないよう整理</li> <li>・子どもが失敗を恐れず自由に試せるよう、温かく見守る雰囲気作り</li> </ul> <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パパッと英語タブレット</li> <li>・モニター</li> </ul>
15:40	<p>【探索活動②】・保育室内にはどんな英語があるか、探索遊びを行う。</p> <p>・見つけた英語を保育者に伝え、ホワイトボードにて友だちと共有を行う。</p>	
15:50	<p>【探索活動③】・何故日本の保育室にも英語圏の言葉がたくさんあるのか、疑問を持ち意見を出し合う。</p> <p>・持ち寄った意見から保育者と一緒に英語とはどこでどんな人が使うか話をし理解を深める。</p>	
16:00	終了	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・子どもたちが身近な英語を意識して探索を行う関心を持てるように、パパッと英語を用いて歌や挨拶で導入を行った。</p> <p>・ホワイトボードを用いて子どもたちが発見した英語をみんなで共有できるようにした。</p> <p>・自分たちの身近にたくさんの英語があることに気づき、なぜの疑問を持って考える姿があった。</p>	<p>・映像を通してアルファベットに興味を持ち、自発的に身の回りの英語を探しに行く姿が見られた。</p> <p>・身近な物や自分の持ち物からアルファベットを見つけ、発見を喜びながら文字への関心を深めていた。</p> <p>・英語の歌を真似して口ずさむ姿や聞いて音楽を楽しんでいる姿、映像を見て様子を伺っている姿が見られた。</p> <p>・英語表現を通して好きな英語を覚えようとする様子があり、子どもたちなりの楽しみ方で自然に言葉を身につけていた。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・音やリズムを楽しみながら発音してみようとする意欲的な姿が見られ、関心の幅を広げられる機会になると実感した。</p> <p>・子どもにとって英語がどのような認識になっているのかを知る機会にもなったので、英語という言葉を通して異文化にも関心を広げる支援を考えていきたい。</p> <p>・何でこんなに英語があるんだろうという疑問に繋がっていったため、子どもたちの探求心が深まったように感じる。</p> <p>・子どもの探求心や疑問に寄り添いながら反応に合わせて活動を展開していき、英語がより身近で楽しいものとして感じられるように進めることを目指したい。</p>	<p>英語を「教える」ではなく、音やリズム、表現の楽しさを通して自然に興味を広げていく姿がとても良かったです。保育者が一緒に発音して楽しむ姿勢が、子ども達に安心感を与え、「言葉っておもしろい」と感じるきっかけになっていってほしいです。また、子どもたちの「なんで?」「どうして?」というつぶやきに丁寧に耳を傾ける姿勢が、探求心や主体的な学びにつながっていますね。</p> <p>今後も、正しい発音や単語を教えることよりも、音の面白さや気付きから広がる異文化への関心を大切にしながら、日常の中で英語に親しむ活動を続けていけると良いと思います。</p>